【学校教育目標】 大浦を愛し 人とつながり 世界につながる ～気づき、考え、実行する 大浦っ子をめざして～

長崎市立大浦小学校　学校だより

令和５年１０月１２日　№１５

大浦Lovers

長崎市立大浦小学校
校　長　中尾　善蔵

野外宿泊学習！

９月２７日～９月２９日の３日間、５年生は日吉自然の家へ、野外宿泊学習へ行きました。３日間とも天候に恵まれ、計画していた活動は無事実施することができました。

子どもたちは、今回の宿泊学習を通して、普段の学校生活では気づかなかった友達のいい所を発見したり、日頃は意識していなかった家族のありがたさを感じたり、今までやっていなかったことにチャレンジしたりして、一回り大きく成長しました。

また、協力、責任、信頼、思いやり、感謝、主体性、規律、礼儀、自然への畏敬の念など、宿泊学習だからこそ体得できる様々なことを学びました。そして何より、みんなで互いに助け合いながら、楽しい思い出をたくさん作ることができました。子どもたちの眩しいばかりの笑顔と達成感でいっぱいの充実した表情が宿泊学習の大成功を物語っていました。

子どもたちは、宿泊学習を通して学んだことや感じ取ったことを今後の生活に活かしていくことでしょう。今後のより一層の成長が楽しみです。

本当にありがとうございました！

１０月５日（木）、ＰＴＡ有志の方々により、児童トイレの清掃活動を行っていただきました。子ども達の力では隅々まできれいにすることができないので、非常にありがたいことでした。

また、地域の方々にも、ミシンの応援隊として、家庭科の授業をサポートしていただいています。たくさんの方々のご厚意により、子ども達の学びを支えていただき、本当に感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。

家庭学習の習慣化に向けて！

小学校時代は、 とくに<u>「基本的な生活習慣」を身に付けること</u>が重要です。そのなかでも、家庭学習においては、宿題があってもなくても自然と自分から進んで机に向かう習慣を身に付けることが大切です。

宿題があるから仕方なしに学習するとか、人に言われたから机に向かって学習するなど、受身的な学習ではけっして長続きしません。

また、テレビやゲームなど子どもの心を揺り動かすものがたくさん存在しますが、その誘惑に負けない強い気持ちを持つことも大切です。

時には弱い心に打ち勝つ強い心、つまり我慢することも大切です。習慣化して毎日続けて学習していくと、学習の仕方がわかるようになり、 わからなければ自分でわかる方法が見つかるようになります。そして、進んで学習する楽しさにも気づくようになっていきます。

家庭学習は、学校で学習し、さらに興味を持って調べてみたいことが出てきたとき、いっそう学習を深める機会となります。人の力を借りずに自分で興味を持って学習を進めることは、とても価値あるすばらしいことです。この学習する態度こそ生きる力と言えます。このような家庭学習の習慣化は、中学校、高校へと進むとき、自分自身の大きなエネルギーになっていくものと思います。

毎日、３０分でも自分から机に向かって宿題や自由勉強などをすることを勧めます。習慣になるまではなかなかうまくできないかもしれませんので、やってみたいことなど興味のあることから始めるとよいかもしれません。

家庭において子どもたちが自ら進んで学習していくよう、保護者の皆様においてもご協力くださますようよろしくお願いします。

１０月の生活目標：『シーンとしている「しずかゾーン」「玄関ホール」「はさみ歩き」』